

アセチレン容器の安全弁に関する基準 KHKS 0125 引用規格比較表

No.	引用規格の最新版		KHKS 0125 (2013)に引用されている規格		引用規格の改正内容等	対応(案)
1	JIS B 0262 (1989)	テーパねじゲージの検査方法	JIS B 0262 (1989)	テーパねじゲージの検査方法	-	-
2	JIS G 4051 (2018)	機械構造用炭素鋼鋼材	JIS G 4051 (2016)	機械構造用炭素鋼鋼材	「9 安全弁の取付座」で取付座の材料として引用されている。 附属書JDにより鋼板の製造方法が追加された。	取付座に板材は使用されていないため、影響はない。 よって、最新版を引用する。
3	JIS G 4404 (2022)	合金工具鋼鋼材	JIS G 4404 (2015)	合金工具鋼鋼材	「附属書A A.2 ねじゲージの材料、硬さ及び表面粗さ」でねじゲージの材料として引用されている。 ①鋼材種類の削除 ②製造方法の追加 ③硬さ試験の一般事項の追加 その他、表現の見直し等がされた。	①引用している材料の種類の対象外。 ②板厚が厚い場合の製造方法の追加であるため、ねじゲージに材料の製法の影響はないと考えている。 ③鋼材の注文者が提示しなければならない情報が明確化されたが、特段影響はないと考えている。 よって、最新版を引用する。
4	JIS H 3250 (2021)	銅及び銅合金の棒	JIS H 3250 (2015)	銅及び銅合金の棒	「7 安全弁の材料」で安全弁の本体の材料として引用されている。 ①無酸素銅の定義の追加 ②アルミニウム青銅の引抜製法の削除 ③化学成分の変更 ④引張試験試験片の変更 ⑤附属書D(銅及び銅合金の棒の固体発光分光分析)の追加 その他、表現の見直し等がされた。	①、②、⑤引用している材料の種類の対象外。 ③C3604等の化学成分についてNi及びAsの成分範囲が新たに規定されたが、特段影響はないと考えている。 ④14A号試験片が追加されたが、製造業者の実績値を検証し影響はないとされている。 よって、最新版を引用する。